

謹賀新年



辛島 雅和

1等陸佐

年頭の辞
第2地対艦ミサイル連隊長
兼ねて美唄駐屯地司令



第111号
令和8年1月発行
発行所
美唄市自衛隊協力会
美唄市西3条1丁目1-1
電話(0126)62-3131

駐屯地司令要望事項
信 頼

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

旧年中は地域の皆様、美唄駐屯地において勤務する隊員及び職員、そしてご家族の皆様より、美唄駐屯地に対しまして格別のご支援とご協力を賜りましたことを、美唄駐屯地にて勤務する者を代表して心より感謝申し上げます。併せて美唄駐屯地において勤務する皆さんが輝かしい新年を迎えられたことを大変喜ばしく思います。

さて、世界に目を向けますと、国際社会は戦後最大の試練の時を迎えています。世界平和の既存の秩序は深刻な挑戦を受け、わが国を取り巻く安全保障環境は、戦後最も厳しく複雑なものとなっております。中国は防衛費を急速に増加させ、尖閣諸島を含む東シナ海や太平洋などでの活動を活発化させており、ロシアはウクライナ侵略を継続するとともに、北方領土を含む地域での活発な軍事活動を継続しています。

防衛省・自衛隊は、このような安全保障環境の中で、戦略三文書に基づき、国民の命と平和な暮らし、わが国の領土・領海・領空を断固として守り抜く取組として、日本の防衛力の抜本的強化を推進しています。

美唄駐屯地の主力部隊である第2地対艦ミサイル連隊におきましても、陸上自衛隊の対海上火力の骨幹として、わが国に侵攻する敵艦船に対しては、陸上自衛隊の一番槍として対艦戦闘の任務を完遂し、必ずや敵の侵攻企図を破砕して国民の生命と財産を守り抜く所存であります。

本年も美唄駐屯地は、「地域と共に歩む駐屯地」として、地域の皆様から信頼される駐屯地であり続けることを目指し、地域の発展のために尽力していく所存でありますので、変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして本年が穏やかであることに加え、笑顔あふれる一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

美唄市長 桜井 恒



新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

辛島駐屯地司令はじめ隊員の皆様、そして、ご家族の皆様におかれましては、明るい希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

美唄駐屯地の皆様には、日々、厳しい訓練を重ねられ、防衛の任務を果たされておりますことに深く敬意を表しますとともに、災害派遣をはじめ、各種イベントやボランティア活動など、本市のまちづくりにご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は北海道におけるヒグマ、本州でのツキノワグマの出没による各種被害が大きな話題となりました。本市においても目撃情報が著しく増加したところがあります。

そのような中、秋田県では自衛隊への災害派遣要請により熊被害への対応として後方支援活動を実施しており、北海道においても対応について検討が進められているところであります。

世界に目を向けますと、ロシアや中国、北朝鮮が連携を深め、わが国周辺における示威活動の活発化や核・ミサイル能力の向上に注力するなど、わが国を取り巻く安全保障環境は、昨年に引き続き、厳しさと不

中東においては、イスラエルとパレスチナ武装勢力の間で衝突が続いていますが、10月にアメリカによるガザ紛争包括的終結計画の提案により、停戦及び双方の人質返還が実施され、和平に向けた取り組みが着実に進められている状況です。

一方、国内においては、7月に発生した鹿児島でのトカラ地震、カムチャツカ半島付近での大地震と、太平洋沿岸部を震源とする南海トラフ地震への警戒が高まる中、本市においては11月7日に自衛隊、警察、消防等と協力しながら、地震を想定した防災訓練を実施いたしました。

これは平成30年度以来7年ぶりとなるもので、倒壊家屋からの的確な指示による人命救助をする隊員の姿を拝見し、常日頃からの訓練の賜物であると実感するとともに、大変頼もしく感じることが出来ました。

市としては、安全・安心なまちづくりを進めている中、国内外でその活躍が高く評価されている自衛隊駐屯地が本市にあることは大変心強く、市民生活の向上やまちづくりに向けて美唄駐屯地の果たす役割は益々重要になっていくものと確信しております。

今後とも地域にとって欠かすことのできないパートナーであります美唄駐屯地の体制強化、そして、更なる伸展に向け、月形町とともに陸上自衛隊美唄駐屯地を守る会をはじめ、北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会などを通じて引き続き国に対し強く要望してまいりますので、より一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、辛島駐屯地司令をはじめ、隊員並びにご家族の皆様にとりまして、本年が健やかで素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

月形町長 上坂 隆一



新年明けましておめでと
うございます。
辛島駐屯地司令をはじめ、
隊員の皆さま並びにご家族
の皆さまには、希望に満ち
た輝かしい新年をお迎えの
ことと、心よりお慶び申し
上げます。
美唄駐屯地の隊員の皆さま
まには、日頃より厳しい訓
練を重ねられておりますこ
とに深く敬意を表しますと
ともに、多大なるご支援ご
協力をいただいていること
に厚くお礼申し上げます。
昨年、5月の創立記念
行事、8月の駐屯地夏まつ
りに月形町からも関係者を
参加させていただき大変あ
りがとうございます。
また、9月25日には月形
町にて、「美唄駐屯地司令
を囲む会」を実施させてい
ただき、美唄駐屯地隊員の

皆様のみなならず、桜井美唄
市長、美唄自衛隊協力会ほ
か関係者の皆さまとジーンギ
スカンを囲み、楽しい時間
を過ごすことができました。
しかし、その一方で、世
界においてはロシアのウク
ライナ侵攻など、力による
国際秩序破壊の動きが強ま
っており、わが日本におい
ても台湾有事を巡る発言に
より中国との緊迫が高まっ
てきている状況です。

美唄駐屯地をはじめ、全
国の自衛官の皆さまが日頃
から訓練に励み、常に高い
練度を維持していただくこ
とで、日本国民の安全や平
和が保たれていると、心か
ら実感しております。

今後美唄駐屯地の拡
充・体制強化に向け、「陸
上自衛隊美唄駐屯地を守る
会」を中心として、引き続
き国に対し強く要望してい
きます。

結びに、辛島美唄駐屯地
司令をはじめ、隊員の皆さま
ま並びにご家族の皆さまに
とりまして、本年が平和で
素晴らしい年になりますよ
うご祈念申し上げます。新年の
ご挨拶といたします。

美唄駐屯地業務隊長

2等陸佐 金子 智和



新年明けましておめでと
うございます。自衛隊協力
会、隊友会、家族会をはじ
めとする各協力団体及び業
務隊OB会の皆様並びに隊
員・職員ご家族の皆様にお
かれましては良き新年をお
迎えのことと心よりお慶び
申し上げますとともに、旧年
中、美唄駐屯地及び美唄駐
屯地業務隊に賜りましたご
厚情に深くお礼申し上げま
す。

さて、昨年は、防衛省自
衛隊として着実に防衛力整
備強化を図っていく中、業
務隊は、生活・勤務環境の
改善・魅力化の取り組みを
実施いたしました。
具体的には、施設関連に
おいては、営内の各部屋、
食堂、隊員浴場及び整備工
場へのエアコンの設置を実
施し、需品関連においては、

営内寝具類の更新準備、営
内個室化に係る取組み、各
事務室機の更新及び営内備
品関連の整備を実施し「隊
員が帰りたくなる駐屯地」
の実現に向け着実に目標を
達成しました。

また、迅速かつ確実な災
害対応及び効果的な訓練基
盤等に資するため、駐屯地
一体となり、今後の駐屯地
整備の中期的な方向性を決
定するための駐屯地の整備
計画を作成することにより、
駐屯地整備の焦点を明確化
いたしました。

今年も引き続き、更なる
生活・勤務環境の改善・魅
力化に取り組むことにより、
駐屯地全隊員が活き活きと
生活し、地域の皆様から
「信頼」され続けるために
も必要な基盤の整備に積極
的に取り組む所存です。

我々の活動は、地域の皆
様、隊員・職員家族の皆様
のご理解とご協力無くして
成り立つものではありません。
本年も変わらぬご支援
ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

結びに、皆様のご多幸と
ご健勝を祈念申し上げ新年
のご挨拶とさせていただきます。

令和7年を締めくくる、連隊をあげた訓練を実施

第2地对艦ミサイル連隊訓練及び
本部管理中隊標定・通信小隊訓練検閲

第2地对艦ミサイル
連隊は、北海道大演習
場において、令和7年
度連隊訓練を実施した。
本訓練は、対艦戦闘
における一連の行動を
演練することを目的に
実施され、連隊本部・
本部管理中隊・各射撃
中隊は互いに連携して
全日程にかけて氷点下
となる厳しい気候の中
様々な困難を克服し、
所期の目的を達成した。

標定・通信小隊
訓練検閲も実施

また、本訓練に併せ
て本部管理中隊の小部
隊である標定小隊(標
定小隊長・盛合曹長)

及び通信小隊(通信小
隊長・伊藤曹長)の
訓練検閲を実施し、両
小隊の練度を検した。
各小隊は、これまで
の訓練成果を遺憾なく
発揮し、良好な標定精
度・堅牢な通信の維持
により、良好な評価を
獲得し、令和7年の連
隊規模の訓練は大きな
成果を挙げ終了した。



未明の対艦戦闘



警戒中の隊員



命令を下達する第2レーダ班長

矢臼別・美唄、同時に実施



草木の伐採(矢臼別)

第2地対艦ミサイル連隊は、令和7年10月14日から22日までの間、矢臼別演習場及び美唄演習場において、秋季演習場定期整備を実施した。

矢臼別演習場は、第4特科直接支援中隊の同行整備支援を受け、本部管理中隊及び第3地対艦ミサイル中隊が、美唄演習場は第1地対艦ミサイル中隊及び第2地対艦ミサイル中隊がそれぞれ担当した。

各部隊は、「演習場は訓練部隊の道場」の認識のもと担当地域の側溝整備や草刈等を実施し、今後も効果的な訓練が実施できるよう、全員が安全に細心の注意を払い、丁

秋季演習場定期整備



力を合わせて刈草を除去(矢臼別)



周囲の安全を確認する安全係(美唄)

寧に整備を実施した。

本整備に、衛生班長として参加した本部管理中隊小林1曹は、「広大な地域の作業であったが、大きな負傷者もなく、無事に整備を終了できて安心しています。連隊衛生班は、引き続き救護態勢を維持していきます。」と語った。

美唄尚栄高、美唄中学生徒 来隊



駐屯地の1日を紹介

第2地対艦ミサイル連隊は、令和7年9月18日に美唄尚栄高校、10月23日に美唄中学校への社会体験学習にそれぞれ協力した。

本学習は、生徒の職業感や勤労感の醸成を目的に市内の各事業所で行われており、今年度は延べ12名の生徒が自衛隊を選択し、駐屯地での生活や装備品の見学、衛生救護を体験した。

生徒は本学習の最後に、「自衛官の生活は意外に楽しそうだった。」「ミサイル発射の準備が格好良かった。」「語り、自衛隊に対する

市内2校へ社会体験協力



救急救護処置を体験する生徒



担架搬送を体験する生徒

る興味を示していた。

本協力を同行した本部管理中隊菅原士長は、「自衛隊の訓練や生活を、しっかりと説明させていただき、将来自衛隊を希望してくれる生徒がいればうれしい」と語った。

美唄曹友会、恵風園・恵祥園へ5年ぶり訪問



園の皆様と餅つき

美唄駐屯地曹友会(会長・本部管理中隊伊藤曹長)は、令和7年12月11日、養護老人ホーム美唄市恵風園・特別養護老人ホーム美唄市恵祥園からの招待を受け、同施設の実施する餅つき大会への慰問を行った。

本行事は、自衛隊と同施設入居者との交流を目的に、駐屯地創設の昭和53年から実施していたが、新型コロナウイルスの流行により令和2年から訪問を見送っていた。

今回は、5年ぶりに招待を頂き、感染対策を万全にし入居者との交流を深めた。美唄駐屯地曹友会からは、7名の会員が訪問し、入居者と共に餅つきを実施する

高齢者施設へ慰問



入居者との交流



余興により盛り上がる会場

とともに、余興としてカラオケや入居者とのゲーム大会により、会場は大きく盛り上がった。

今回の訪問について、美唄駐屯地曹友会長伊藤曹長は、「5年ぶりに恵風園・恵祥園の皆様にお会いすることができ、大変うれしく思います。また来年も、園の皆様と元氣な姿でお会いしたいです。」と語った。

美唄駐屯地年末行事

美唄駐屯地は、令和7年12月20日、駐屯地体育館において駐屯地年末行事を実施した。

当日は、ご来賓や隊員家族をはじめとする来場者とともに、1年の労をねぎらい餅つきを行った。

本行事ではアトラクションとして、肉体美コンテストや駐屯地今年1年のスライドショーを上映した。



何故か巨人も登場



家族と餅つき

今年も1年、ありがとうございました



抽選会の様子



鍛えあげた肉体美を披露する

当選発表の度に会場内が大きな盛り上がりを見せ、令和7年を締めくくった。

肉体美コンテストで優勝した第2地对艦ミサイル連隊本部第1科堀江3尉は、「来場いただいた皆様に楽しんでいただきたようで、普段から鍛えた甲斐がありました。また来年に備えて、しっかりと筋肉を仕上げていきたいと思います。」と語った。

美唄市・月形町 防災訓練参加

自衛隊と協同 炊出しも



隊員による装備品説明(月形町)

会場の月形町では、人命救助システムの展示、美唄市では同システムを使用した倒壊家屋からの救出や、野外炊具2号による炊出しを通じて、関係自治体との連携要領を確認した。

第2地对艦ミサイル連隊は、令和7年10月5日に月形町防災訓練、令和7年11月7日に美唄市防災訓練にそれぞれ参加した。

時にも、非常に頼りになると感じました。」と話した。

また、炊事班として参加した本部管理中隊日野1曹は、「災害における炊出しは被災された方の活力となるので、災害時にはおいしいご飯を提供できるように今後も練成してまいります。」と語った。



倒壊家屋からの救出(美唄市)



野外炊具2号による炊出し(美唄市)

ピパオイヘルシーロードレース 及び美唄市ハーフマラソン協力

協力隊として、本部管理中隊が任務を完遂



ランナーを先導する小型車

第2地对艦ミサイル連隊は、令和7年9月23日、美唄市内で実施された第34回ピパオイヘルシーロードレース兼第30回美唄市ハーフマラソン大会に協力した。

本大会には、小型車による選手の先導や、一部の給水所の開設・運営を実施し、本大会の盛會に寄与した。

当日は、各地から千人を超えるランナーが参加し、さらに美唄駐屯地からも数名の隊員がランナーとして出場した。



市内生徒と共に給水支援



無線による状況確認

コースを駆け抜けた。今回の協力に初めての参加となった、協力隊長・第2地对艦ミサイル連隊本部管理中隊長富田1尉は、「天候にも恵まれ、大会の成功に貢献できてよかった。次回は、ランナーとして参加してみたいと思えます。」と語った。

部隊等紹介

本ページは、駐屯地所在の各部隊等を紹介していきます。
今回は、第3地对艦ミサイル中隊と自衛隊札幌地方協力本部・札幌地域援護センター美唄分室です。

第3地对艦ミサイル中隊です。
我々第3地对艦ミサイル中隊は、中隊長要望事項「前向きに」を具現化すべく、何事にも前向きに日夜訓練・勤務・業務・作業等に励んでいます。新たに中隊シンボルマークやTシャツを作成し、さらに帰属意識を高めた我々の活躍をご期待ください。

中隊訓練検閲優秀隊員



◆永石2曹
(写真右・作業班長としての功績)
◆内山士長
(写真左・測量手としての功績)
2名の活躍により、中隊は良好な成果を獲得しました。



中隊シンボルマーク爆誕！
帰属意識の高揚を目的としてシンボルマークを作成しました。連隊長要望事項の「一番槍」から着想を得て、野戦特科精神の如く最後の一兵まで戦い抜いた英雄「真田幸村」の槍「三代村正大千鳥十文字槍」をモチーフに、精悍な仕上がりになっています。

第3地对艦ミサイル中隊



中隊長「1等陸尉 那須 清哉」上番
第17代第3地对艦ミサイル中隊長に那須1尉が上番！
「前向きに」を要望事項として、冷静な判断力と強い信念をもって中隊の指揮を執っています。



団戦技競技会「SSM射撃統制の部」優勝
第2地对艦ミサイル連隊悲願(初)の射撃統制の部で優勝！第1特科団最強の射撃統制組としての誇りをもって引き続き練度向上を図り「連覇」を狙います。



内山士長の器材操作の様子



職業訓練は、ドローン操縦の他、各種あります。業務管理教育終了後は、将来の為にぜひ受講してください。



退職予定者に対し、退職前教育・就職相談を実施しています。



美唄分室は、職業訓練「OA事務教育」を担当しています。



美唄分室は、私たち3名が勤務しています。再就職について、困ったことがあれば、いつでもご相談ください！

自衛隊札幌地域援護センター美唄分室です。
我々は、定年・任期満了により自衛隊を退職する方に対し、就職支援業務(就職指導・職業訓練・職業紹介など)を実施しています。
また、企業様に対し、自衛隊という職場を理解していただくための広報活動も行っており、日夜担当地域を飛び回っております。

自衛隊札幌地方協力本部
札幌地域援護センター美唄分室

駐屯地公式X・ホームページあります！
隊員達の活躍を、ぜひご覧ください！

駐屯地公式X



駐屯地公式ホームページ



幹部上級課程入校

未来の指揮官 駐屯地より2名

第2地对艦ミサイル連隊本部管理中隊・平野2尉及び第314基地通信中隊美唄派遣隊長・小澤2尉は、令和7年9月から、富士・久里浜それぞれの駐屯地で実施されている幹部上級課程に入校中である。

本教育は、中堅指揮官及び幕僚として必要な知識及び技能を修得するとともに、幹部としての資質の向上を目的としており、約半年間に渡り履修する。

本教育への出発にあたり2名は、「これまでの部隊における経験や履修前教育で教わった内容を活かして、誠心誠意取り組んでいきます。」(平野2尉)、「これまでの部隊経験と履修前教育で学んだ内容を活かし、成果を部隊で発揮したいと思っています。」(小澤2尉)と語り、本教育への意気込みを語っていた。



小澤 2尉
(第314基地通信中隊美唄派遣隊長)



平野 2尉
(第2地对艦ミサイル連隊本部管理中隊)

功績者紹介

令和7年8月、



第2地对艦ミサイル連隊本部管理中隊 齋藤士長は、自衛隊札幌地方本協力本部への臨時勤務において、勤務優秀につき自衛隊札幌地方協力本部長より褒賞状を授与されました。



令和7年9月、第2地对艦ミサイル連隊本部 堀江3尉は、札幌共済ホールで実施された「マッスルゲート札幌大会メンズマスタースターズフイジーク(40歳以上)」において、第4位に入賞しました。



令和7年9月、第2地对艦ミサイル連隊第3地对艦ミサイル中隊 宮崎3曹は、

第1陸曹教育隊で実施された初級陸曹課程教育において、成績優秀につき教育中隊長賞を受賞しました。



令和7年10月、第2地对艦ミサイル連隊本部管理中隊 小谷3曹は、北部方面

隊で実施された北部方面隊創隊73周年記念行事において、勤務優秀につき北部方面総監より褒賞を受けました。

令和8年1月

昇任者

◆1等陸尉へ

- 第2地对艦ミサイル連隊本部 小熊 洋司

◆准陸尉へ

- 美唄駐屯地業務隊 能登谷 直弘

◆陸曹長へ

- 美唄駐屯地業務隊 大内 啓至

◆1等陸曹へ

- 美唄駐屯地業務隊 神馬 政光

◆2等陸曹へ

- 第1地对艦ミサイル中隊 古泉 直
- 小園 将人

- 第2地对艦ミサイル中隊 高橋 佑太

◆3等陸曹へ

- 第2地对艦ミサイル中隊 田中 萌
- 第3地对艦ミサイル中隊 宮崎 滯二

◆陸士長へ

- 第2地对艦ミサイル中隊 三橋 丈次郎
- 第3地对艦ミサイル中隊 南原 俊乃介

永年勤続表彰受賞者

◆第2地对艦ミサイル連隊

- 連隊本部 吉田 宏
- 1等陸尉 名越 宣朝
- 本部管理中隊 平泉 伸吾
- 陸曹長 番井 裕也
- 2等陸曹 宮本 知明

- 第2地对艦ミサイル中隊 伊藤 玄太
- 2等陸曹 古谷 雅

- 第4特科直接支援中隊 田邊 恵一
- 1等陸尉 田 淵 彰

◆美唄駐屯地業務隊

- 総務科 大内 啓至
- 2等陸曹 田 淵 彰
- 補給科 1等陸曹

【札幌地本HP・SNS情報】



採用試験案内

募集種目	受付期間	試験期日
第8回自衛官候補生	1月14日～2月19日	3月1日
第1回予備自衛官補	1月22日～3月30日	4月1日～19日 いずれか1日

お問合せ先：自衛隊札幌地方協力本部 岩見沢地域事務所
0126-23-5514

祝 定年退官



美唄駐屯地業務隊 佐伯曹長 (9月18日付)



第314基地通信中隊美唄派遣隊 石田2曹 (11月26日付)



第4特科直接支援中隊 門脇3尉 (12月16日付)



美唄駐屯地業務隊 井野准尉 (1月9日付)